

2012年10月26日 19:06

Rebecca(レベッカ)さんが来院！

姿勢矯正士の社内です。「久しぶり！」流ちょうな日本語の第一声であった。レベッカはこの度、茶道、煎茶道、華道水墨画などのレベルアップのために8年ぶりに来日し、和歌山にしばらく滞在予定である。

「はい！お父さんからのプレゼントよ！」Dr. Benoit（ドクター・ブノワ）手作りの暖かみのあるウッド・ラウンドポットだった。レベッカのお父様は医師だったが昨年70才で退職。元気に趣味のウッドラウンドを楽しんでおられるようだ。

詳細は省くが15年前、体調不良で検査した私の検査データをレベッカがドクター・ブノワにメールし、分析を依頼してくれていたのだった。休日にもかかわらず彼はすぐ対処法を指示してくださった。レベッカは私にFAXで詳細を連絡してくれ、それを持って病院に直行。すぐに最新医療を受けることとなった。お陰で現在は比較的健康が保てている。本当にレベッカとドクター・ブノワには感謝している。

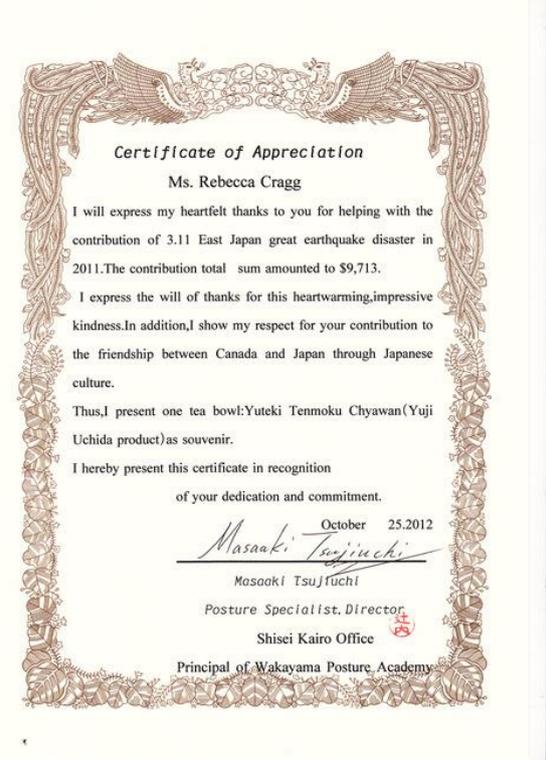


ウッドラウンド・ポット Camellia Teas of Ottawa のお茶

私はレベッカに東日本大震災義援金のお礼を述べ、感謝状（日本語と英語）と記念品（油滴天目茶碗：陶芸家の内田有二先生作）を手渡した。レベッカは大変感激してくれた。

私からの感謝状などはずいぶん変だとは思った・・・しかし、どんな形であっても何とかして感謝の意を伝えたかったのだ。

内田有二先生の天目茶碗は素晴らしいので彼女の手元にある方が「生きる」に違いない。彼女はオタワの日本領事館ともご縁がある。いつかこの茶碗も親善大使の役目を果たしてくれたら素敵だと思う。感謝の気持ちを形にして良かったと思った。



感謝状と油滴天目茶碗をプレゼント



久しぶりに話は弾みいろんな話をした。2009年、天皇皇后両陛下がオタワをご訪問された際に、皇后様が和服姿のレベッカの前で立ち止まられ「ご自分で着付けをされるのですか？」と優しく手を取りながらお声がけくださったそうです。「心が揺さぶられるような感じがして、なぜか分からないけど感動して涙がでてきました。本当に素晴らしい体験でした。」と語ったレベッカ。かつて日本で着物着付けの全国大会で優勝して新聞で紹介されたこともあった彼女の和服姿が際だっていたに違いない。

関連：<http://www.tamakidc.jp/drblog/2009/03/2009328.html>

<http://blog.inohara.jp/?cid=38737>

旅の疲れを癒してもらうための施術も予定に入れていた。「丁度肩がこっている」とのこと。

「OK! 任せなさい!」早速、姿勢チェックと施術を開始。ひどい肩こりだ! 終わった後で「カイロプラクティックでもないし、マッサージでもないし、すごくいい!初めての体験です!安全で優しい感じ。軽くなった!すごく上手です!」そう言ってくれた。

これで明日から気分新たに日本文化を極められると思う!



「スッキリ!爽快!」施術後のレベッカさん

余談だが外国の人は肩こりがしないのか?そんなことはない。

stiff shoulders, shoulder stiffness, shoulder discomfort, stiff neck 等の言葉がある。

IT 機器が急速に世界中に普及している現代社会。世界中で「肩こり、悪い姿勢」に悩む時代が到来していると言える。いよいよ私たち「姿勢矯正士」の出番である!